

## 平成29年度4月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成29年4月5日（水）午前11時00分～11時30分  
場所 市役所2階 第1委員会室  
出席 市政記者クラブ9社

### 会見内容

#### 1. はじめに（2項目）

##### 1. 新年度に向けての抱負などについて

- 新年度、最初の定例記者懇談会でございます。
- 先般終了いたしました2月定例市議会において、予算をはじめ、「釧路市手話言語条例」など、今年度の取り組みに関する議案につきまして議決いただいたところです。
- 釧路市は、ひがし北海道の拠点都市として、陸海空のネットワークである高速道路や港湾、空港などの整備によりまして、一定の広域的な拠点機能が整ってきたと考えております。  
この状況の中で、やはり地域経済の活性化については厳しいものがありますが、雇用の創出等に釧路市を挙げて取り組むことが重要であると考えております。  
あわせまして、今年度は、市政方針の中でも、一つ上を目指したまちづくりを行っていくと、お話をさせていただいているところであります。
- 一つ上ということで、価値観を高めるといったことを進めることが極めて重要であると考えております。  
そのようなことを目標にしていきながら、これからのまちづくりの中でも、今、国でもの大きな目標を掲げている観光をしっかりと行っていきながら、経済の活性化、雇用を生み出す等々を進めていき、「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で目標としております人口減少に立ち向かっていくと行ったことを行ってまいりたいと考えております。
- さらに、「釧路市まちづくり基本構想」についても、今、策定中でございまして、市役所から、議会から、市民サイドへしっかりと色々な情報をわかりやすく提供していきながら、一体となって進めていけるよう、がんばっていただければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

##### 2. 地域公共交通網形成計画に係る住民説明会の開催について

- 3月から開催している「地域公共交通網形成計画」の住民説明会は、本日5日（水）を含め、7カ所で開催することとなっております。
- 本日5日（水）は「鉄北中央会館」、明日6日（木）に「新富士生活館」、そして10日（月）に「阿寒町行政センター」、11日（火）に「交流プラザさいわい」、12日（水）に「コア大空」、13日（木）に「コアかがやき」、14日（金）に「音別町コミュニティセンター」で、各会場午後6時から開催いたします。

- 説明会の中でもお話をさせていただいておりますが、釧路市の公共交通は、バスが大きなウェイトを占めております。  
バスの利用者は、平成17年度に637万人利用していたものが、平成27年度は521万人ということで、この10年間で約120万人近くの利用者が減少しており、このまま推移していくと、地域の公共交通の維持が困難なものになることが予想されます。
- 人口減少社会、あわせて超高齢社会という中で、市民の方々が安心して利用できる公共交通を維持、確保していくことが、大変重要なことだと考えております。
- そこで、本計画では、釧路市の公共交通の指針として、これから目指す公共交通像や公共交通網の基本方針などを示しています。
- 説明会では、このような部分の考え方を話ししていきながら、地域の皆さんと認識を共有していこうということで進めております。  
これまで、3月27日の春採下町会館で10人、28日の大楽毛生活館で31人、そして4月4日コア鳥取で16人が参加されたということでありましたけれど、ぜひ、皆さんにもご参加をいただきながら進めていければと考えておりますので、よろしくお願いたします。

## 2. 話題提供(1項目)

### 1. 釧路市民球場広告掲載事業の募集について

- 釧路市民球場 広告掲載事業の募集です。  
市では広告媒体を有効に活用しながら、財源の確保をしていこうと、エレベーター等、色々な資産を活用しております。  
その中で、釧路市民球場への導入についても調査、研究を進めてまいりました。
- 釧路市民球場は、平成26年から4カ年計画で大規模改修工事を実施しており、今年度は人工芝の設置や外壁補修などを行い、7月下旬には工事が終了する予定となっており、工事終了後、リニューアルオープンする外野フェンスを活用した広告掲載事業を行ってまいります。
- 今月10日(月)から28日(金)まで本広告事業の募集を行います。広告掲載料は、今年度は年度途中からの募集ということもあり、1枠7万円を最低価格といたしまして、広告主の方から金額を提案していただき、高い金額を出してもらったところから順に広告主が希望する場所に掲載をするものです。  
来年度は年度始めからできますので、継続、新規ともに1枠10万円と考えております。
- 広告掲載期間は、本年度は7月25日(火)から翌年3月31日(土)までで、来年度以降は、4月1日から翌年3月31日までの1年としております。  
枠としては全部で14枠ということでありまして、1つが、縦1m×横10mの規格になっており、白を基調としたペイント塗装とし、広告の作成費用は、市の他の広告事業と同様、広告主が負担するというものであります。

- なお、7月25日（火）には、8年ぶりの開催となる北海道日本ハムファイターズ一軍公式戦が開催され、そこからスタートするということでもあります。  
その他には、亜細亜大学硬式野球部による記念試合や、秋には北海道高等学校野球連盟釧根支部の大会や、全道朝野球大会などが予定されております。

### 3. その他（1項目）

#### 1. 学生消防団活動認証制度について

- 釧路市の学生消防団活動認証制度についてです。  
大学生、専門学校生などが在学中に釧路市の消防団員として活動し、地域貢献を行った功績について、釧路市が認証することにより、学生消防団員の就職活動を支援する制度です。
- 各種の災害発生に備え、消防団員を長期的に確保していくためには、若い人材の確保が重要となっております。  
本制度の導入により、釧路市消防団においては、特に若い世代層である学生消防団員が増加することで、消防団員の人材確保につながるとともに、防災意識が高く、地域に根ざした活動をする若い世代の方々が地元企業・事業所に雇用されることによりまして、地域の消防力や災害対応力などが向上することを期待しております。
- 今後につきましては、大学・専門学校等への働きかけのほか、経済団体や企業に対して積極的に制度への理解と協力を求め、消防団員の増加につなげ、「災害に強い街づくり」につながるよう取り組んで参ります。
- 本制度につきましては、ひがし北海道では、釧路市が初めて導入するというものであり、本年4月1日現在、学生消防団活動認証制度を導入している道内の市町村は、釧路市の他、4市4町1村の9市町村となっております。

### 4. 質疑要旨

（質問）

- ・ 市民球場の広告事業について、集めたお金の使い道というものは、今はどのようにお考えですか。

（スポーツ課長）

- ・ 広告事業の収入につきましては、その施設の歳入として見込んで、その整備に関わる、備品の整備や、修繕に充てるということも考えています。

（質問）

- ・ 他にも使い道はあるのでしょうか。

（スポーツ課長）

- ・ 野球場で得た収入ですから、基本的には野球場になるかと考えておりますが、他に付随して直せるものがあれば、大規模運動公園の中で使うということも考えております。

（市長）

- ・ 広告収入は、球場のものであるから、球場のところに使っていきたいと思います。

(質問)

- ・ ふるさと納税について、総務省から返礼品の金額を寄附額の3割以下に速やかに抑えるようにと通達が出ていますけれども、この内容については、市長はどのように受け止めていらっしゃるでしょうか。

(市長)

- ・ しっかりそこのところは順守していくという考え方であります。

(質問)

- ・ そもそも自治体間で色々と競争が過熱しており、今回の通達はそれを抑えるための趣旨だと思うのですが、今のふるさと納税制度そのものについては、どのようにみておりますか。

(市長)

- ・ ふるさと納税は、その地域の中への寄附等、色々な仕組みの中で、出身者の方々がバックアップするといったところからスタートしたものだと思っております。しかしながら、例えば既存の流通の中のものではない地元のものをPRしながら、販売につなげていくなど、大変活用のできる仕組みだと考えております。

(質問)

- ・ しっかりと活用していくということですか。

(市長)

- ・ 例えば、長いもので「釧路美人」というものがあるのですが、量が少なく、あまり流通していないものです。また阿寒丹頂黒和牛にいたしましても、絶対量が少ないものがあります。

常に提供でき流通しているものと、流通していないものとを組み合わせながらこれらの仕組みを活用していければと思います。

(質問)

- ・ 新年度に入りまして、観光立国ショーケースの実施概要を、先日、発表され、特に外国人観光客のための対策というものは、新年度の予算も色々と付いておりますけれども、改めてどのように整備していきたいか、どのような思いで臨んでいく考えでしょうか。

(市長)

- ・ 観光立国ショーケースに選定されたところでありますので、ここはしっかりと成し得ていかなければいけないと考えております。

つまり、長崎市、金沢市と比較しても、ここ釧路市の中で成果があげられれば、まさに全国のモデルになれるという、そのぐらいの気持ちを持ちながら進めていくということなのです。

今、DMOを目指している「釧路観光コンベンション協会」、それから「阿寒観光協会まちづくり推進機構」と色々と話をしながら進めているところでございます。

他にも水のカムイの観光圏もありますし、ひがし北海道広域観光周遊ルート、それとあわせて国立公園満喫プロジェクトなどを連携させて、観光立国ショーケースということに結びつけていくということが必要だろうと考えております。

(質問)

- ・ JRの関係で、オホーツクでは、勉強会が開催され、宗谷の方では、JRと協議を行うという話もあります。釧路市もしくは釧路地域としては、今、どのような考え、もしくは取り組もうとしているのでしょうか。

(市長)

- ・ JRの問題につきましては、議会の中でも、またこのような場面でも、北海道全体として、どのようにやっていくのだとお話ししてきましたが、やはり地域の中でしっかりと利活用を含めて考えていくことが必要だと考えております。

3月30日に、このJR問題に関して、釧路管内の市町村長で、釧網線の関係について、オホーツクの期成会の動きなどの話をしております。

あわせて、花咲線の関係では、根室とも、色々な話を情報共有しながら進めております。

このようなことも踏まえ、共に期成会の中で、この路線をしっかりと残していこうということも決めているところです。利活用というところを中心に、オホーツクと同様の形で、期成会の中に組織を作っていこうといったことをお話させていただいており、日程はまだ調整中でありましてけれど、皆様方からも了解をいただきながら、そのようなものを立ち上げて行っていきたいと考えているところがあります。

(質問)

- ・ それは、釧路地方のものになりますか、それとも根室も含むものですか。

(市長)

- ・ 釧路です。まず、それぞれの期成会の中で決めて、それから連携するもので、まずは釧路ということですが。

オホーツクの期成会とも、ぜひとも、情報共有しながら進めていこうと考えております。

私どもとしては、まずは、利活用ということ地域の中で進めていくことが必要ではないかというお話をさせていただきました。今後、設立の段階において、日程調整をしながら、中身も決めていきたいと考えております。

根室とも情報を共有しながら進めています。

(質問)

- ・ 道東道の阿寒インターチェンジができて1年になり、経済効果が釧路市としても出ていると思うのですが、いずれにしても道東道が中心部までつながらないと思っております。

釧路西インターチェンジまでの接続は、開発局の予定を見ましても、まだ、年度未定ということになっているおります。それについて、釧路市としては早急に開通するよう要望を行っていると思うのですが、市長はどのような考えで行動しているのでしょうか。

(市長)

- ・ 阿寒インターチェンジから釧路西インターチェンジまでは17kmありますので、早期開通について、毎回、要請させていただいているところがあります。

ご案内のとおり、あそこは、新直轄方式ということですので、若干実施の仕方が違っておりますが、実際に、工事は行っておりますから、早期に目途を示してくれるのではないかと期待しております。

あわせて、今回、計画段階評価を進めるための調査として、厚岸町の尾幌から糸魚沢が選定されたところがあります。こういうところも、非常に良い流れになってきていると思います。

昨年、阿寒インターチェンジまで開通し、その開通によって、どれだけの効果があったかということは、開発局から当初の予定以上の効果というものができると発表されておりましたが、このタイミングでしっかりと加速させていきたい

と考えております。

(質問)

- ・ 道東道の交通量は、開発局で発表されていますけれど、市への経済効果というものは、市長はどのように評価されているのでしょうか。

(市長)

- ・ 出ている数字は、道の駅の売り上げが、2.6倍になったというものがありますが、やはり人が行き交うということが、最大の効果になると思います。  
外環状の通行車両数が10,000台を超えるということは、誰も始めは、そのように考えていませんでした。つまり、時間短縮ということが人の経済活動、もしくは行動活動を活発化させて、非常にプラスになってきますし、あとはそのようなインフラであるということ、色々と発信しながら、そのプラスの活動に結びつけていければと思います。